

**令和2年度
会津坂下町行政評価結果**

令和2年10月

会津坂下町行政評価委員会
(会津坂下町政策財務課政策企画班)

令和2年度会津坂下町行政評価委員会による行政評価結果

○令和2年度 行政評価委員会 評価基準表

評価基準	評価内容
①	適正な効果があらわれているため、継続して事業を実施すべきもの
②	改善点があるが、継続して事業を実施すべきもの
③	改善点が多いため、事業内容を再検討すべきもの
④	事業の目的・成果が不明なため、事業を廃止すべきもの
⑤	その他

1. 全事業(135事業)

番号	事務事業名	担当班	ヒアリング 対象	外部評価 対象	評価結果	改善の方向性等
1	集会所建設補助事業	行政管理			①	
2	職員研修事業	行政管理			①	
3	人事評価・人材育成事業 (人材育成基本方針)	行政管理	○		②	コロナ禍にあつて集合研修が難しい状況ではあるが、オンラインの活用や会場の工夫等により研修を実施し人材育成を図る。
4	自主防災組織の育成	危機管理	○		②	団員数の減少に伴い、初動対応に後れを取らぬよう、班域の見直しを検討中である。
5	消防施設整備事業	危機管理			①	
6	防災計画改訂事業	危機管理			①	
7	安全標識等設置事業	危機管理			①	
8	街頭指導事業	危機管理			①	
9	高齢者運転免許証返納事業	危機管理	○		②	会津坂下警察署と合同で、高齢者交通安全教室を年次計画により各地区で開催予定である。
10	地方税電子化事業(eL-TAX)	税務管理	○		①	
11	再生可能エネルギー導入促進事業	政策企画			①	
12	役場新庁舎建設事業	庁舎建設準備			①	
13	生活交通路線安全対策事業	政策企画			①	
14	生活路線バス維持対策事業	政策企画			①	

番号	事務事業名	担当班	ヒアリング 対象	外部評価 対象	評価結果	改善の方向性等
15	「人の駅・川の駅・道の駅」活用事業	政策企画			①	
16	地域づくり推進事業	政策企画			①	
17	地域おこし協力隊導入事業	政策企画	○		①	
18	広域市町村圏整備組合事業負担金	政策企画			①	
19	行政評価事業	政策企画			①	
20	地域イントラネット基盤整備事業	政策企画			①	
21	電子計算機導入事業	政策企画			①	
22	行政施策PR促進事業	政策企画	○	○	①	「2. 詳細な評価を実施した事業」のとおり。
23	広報あいづばんげ発行事業	政策企画			①	
24	情報化施策推進体制整備事業 (愛プランの推進)	政策企画			①	
25	地域インターネット活用事業	政策企画			①	
26	地籍調査事業	財務管理	○		①	
27	一人暮らし高齢者生活支援事業	戸籍環境	○		②	安否確認を中心にゴミ回収等を実施し、より一層高齢者の支援を行う。
28	食品等放射性物質検査事業	戸籍環境			①	
29	廃棄物減量化推進事業	戸籍環境	○		①	
30	廃棄物再資源化事業	戸籍環境	○		②	事業所に対するチラシ配布や説明会を実施予定である。
31	廃棄物処理収集事業	戸籍環境			①	
32	不法投棄防止事業	戸籍環境			①	
33	ばんげエコプラン推進事業	戸籍環境			①	
34	会津西部斎苑運営事業	戸籍環境			①	
35	戸籍総合システム更改事業	戸籍環境			①	

番号	事務事業名	担当班	ヒアリング 対象	外部評価 対象	評価結果	改善の方向性等
36	社会保障・税番号制度活用事業 (マイナンバー制度)	戸籍環境			①	
37	住民基本台帳ネットワーク事業	戸籍環境			①	
38	育児応援事業	福祉健康			①	
39	健康増進事業	福祉健康	○	○	②	「2. 詳細な評価を実施した事業」のとおり。
40	健康づくり啓発事業	福祉健康	○		①	
41	妊婦・乳幼児健康診査事業	福祉健康			①	
42	予防接種事業	福祉健康			①	
43	健康診査事業(がん検診)	福祉健康			①	
44	食育推進事業	福祉健康			①	
45	医療機関・救急医療充実事業	福祉健康			①	
46	地域生活支援事業	福祉健康			①	
47	シルバー人材センター活用事業	福祉健康			①	
48	健康管理センター活用事業	保険年金			①	
49	健康診査事業	保険年金			①	
50	介護・生活支援の担い手育成事業	保険年金			①	
51	介護保険給付事業	保険年金			①	
52	介護予防・生活支援サービス事業	保険年金			①	
53	介護予防・地域での支え合い事業	保険年金	○		①	
54	包括的支援事業・任意事業	保険年金			①	
55	木造住宅等安全対策促進事業	都市土木			①	
56	空き家対策事業	都市土木			①	

番号	事務事業名	担当班	ヒアリング 対象	外部評価 対象	評価結果	改善の方向性等
57	都市公園整備事業	都市土木	○		②	公園遊具や人道橋(ばんげひがし公園)について、修繕・撤去等の方向性を定めて対応する。
58	ばんげひがし公園整備事業	都市土木			①	
59	坂下東第一土地区画整理事業	都市土木	○		②	資金計画を含め、事業完了までの道すじを示す。
60	除雪機械整備事業	都市土木			①	
61	除雪対策事業	都市土木			①	
62	町営住宅改修事業	都市土木			①	
63	町営住宅管理業務	都市土木			①	
64	定住支援事業	都市土木	○		②	国・県や庁内各課との連携を図るほか、移住定住促進委員会を開催する等、今後の取組について協議を進めていく。
65	街なみ環境整備事業	都市土木			①	
66	2項道路後退用地取得事業	都市土木			①	
67	宇内沼越線整備事業 (丈助橋)	都市土木			①	
68	橋梁整備事業	都市土木			①	
69	町道整備事業	都市土木			①	
70	アダプト制度推進事業	都市土木			①	
71	合併処理浄化槽整備事業	上下水道			①	
72	公共下水道事業 (維持管理)	上下水道			①	
73	公共下水道事業 (坂下西・東・中央処理区)	上下水道	○		①	
74	用排水路整備事業	上下水道			①	
75	農業集落排水整備事業	上下水道	○		①	
76	上水道施設整備事業	上下水道			①	

番号	事務事業名	担当班	ヒアリング 対象	外部評価 対象	評価結果	改善の方向性等
77	農村無給水地区整備補助事業	上下水道			①	
78	下水道・農集排企業会計導入事業	上下水道			①	
79	経営所得安定対策交付金事業	農林振興			①	
80	農業経営基盤強化資金利子補給事業	農林振興			①	
81	農地集積協力金交付金事業 (人・農地プラン推進事業)	農林振興			①	
82	機構集積支援事業	農林振興			①	
83	農産物販路拡大事業	農林振興	○	○	②	「2. 詳細な評価を実施した事業」のとおり。
84	有害鳥獣対策事業	農林振興			①	
85	県営老朽ため池等整備事業	農林振興			①	
86	中山間地域等直接支払事業	農林振興			①	
87	土地改良事業(水利施設整備事業 (基幹水利施設保全型))	農林振興			①	
88	多面的機能支払交付金事業	農林振興			①	
89	農業用河川工作物応急対策事業	農林振興			①	
90	森林活動・緑化推進事業	農林振興			①	
91	ふくしま森林再生事業	農林振興			①	
92	6次化商品開発促進事業	農林振興			①	
93	消費者行政活性化事業	商工観光			①	
94	物産等販売促進事業	商工観光	○		②	企業の社員食堂での町産米の利用促進を図るとともに、観光物産協会を中心とした販売促進に向けた体制整備を進める。
95	街なか賑わい創出事業	商工観光	○		①	
96	企業経営・雇用支援事業 (雇用創出推進事業)	商工観光			①	

番号	事務事業名	担当班	ヒアリング 対象	外部評価 対象	評価結果	改善の方向性等
97	企業誘致推進事業	商工観光			①	
98	勤労者互助会	商工観光			①	
99	中小企業・小規模事業者支援事業	商工観光			①	
100	観光ボランティア育成事業	商工観光			①	
101	広域観光推進事業	商工観光			①	
102	観光物産協会運営支援事業 (祭り活性化事業)	商工観光			①	
103	温泉施設等管理委託事業	商工観光	○		②	今後の方針を明確に示す。
104	議会の広報広聴充実事業	議会事務局			①	
105	教育相談機能充実事業	教育総務			①	
106	特別支援教育支援員配置事業	教育総務			①	
107	通学安全対策事業 (小学校・中学校通学事業)	教育総務			①	
108	学力向上推進事業	教育総務			①	
109	国際理解・文化交流事業	教育総務	○		①	
110	小中学校情報教育機器整備事業	教育総務	○		②	ICT教育環境を整備することによる学校教育のあり方について明確にし、子どもたちの学習活動の充実を図る。
111	学校給食センター運営事業	学校給食センター	○		①	
112	放課後子ども教室推進事業	社会文化			①	
113	生涯学習推進事業	社会文化	○		①	
114	スポーツ振興事業	社会文化	○		①	
115	総合型地域スポーツクラブ支援事業	社会文化			①	
116	五浪美術記念館活用事業	社会文化			①	

番号	事務事業名	担当班	ヒアリング 対象	外部評価 対象	評価結果	改善の方向性等
117	ブックスタート促進事業	社会文化			①	
118	本に親しむ町民をつくる事業	社会文化			①	
119	町史編さん事業	社会文化			①	
120	指定文化財保存調査事業	社会文化			①	
121	埋蔵文化財センター活用事業	社会文化	○		①	
122	遺跡発掘調査事業	社会文化			①	
123	歴史の道維持・管理事業	社会文化			①	
124	陣が峯城跡・亀ヶ森古墳等保存整備事業	社会文化			①	
125	子育てふれあい交流センター事業	子ども支援	○		②	子育て支援施設の拠点の一つとして、より機能を果たせるよう、相談支援体制の充実を図る。
126	子どもの医療費助成事業 (乳幼児・児童医療費助成事業)	子ども支援			①	
127	私立保育所等施設型給付事業	子ども支援			①	
128	ひとり親家庭医療費助成事業	子ども支援			①	
129	ファミリーサポート事業	子ども支援			①	
130	放課後児童健全育成事業	子ども支援			①	
131	ホームスタート事業 (家庭支援スタッフ訪問事業)	子ども支援			①	
132	養育支援訪問事業	子ども支援			①	
133	通園安全対策事業 (幼稚園児送迎バス運行)	子ども支援			①	
134	延長保育促進事業(保育所)	保育所			①	
135	延長保育促進事業(幼稚園)	幼稚園			①	

2. 詳細な評価を実施した事業(3事業)

No.	事務事業名	担当班
1	健康増進事業	福祉健康班
<p><評価結果></p> <p>② 改善点があるが、継続して事業を実施すべきもの</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携して取組の充実・強化を図ること 		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容の分かりづらさが関心の低さに繋がっていると考えられるため、分かりやすい周知について検討すること 		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知方法を工夫し、協力店舗のPRに繋げること 		
2	農産物販路拡大事業	農林振興班
<p><評価結果></p> <p>② 改善点があるが、継続して事業を実施すべきもの</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税やインターネット販売等により、一定の成果があがっているが、今後ともコロナ禍に対応した事業推進を図ること 		
<ul style="list-style-type: none"> ・生産者に対する意識改革を図るべく、その方法について検討すること 		
<ul style="list-style-type: none"> ・生産者と販売店が直接繋がることのできる、農産物の販売方法・体制について検討すること 		
3	行政施策PR推進事業	政策企画班
<p><評価結果></p> <p>① 適正な効果があらわれているため、継続して事業を実施すべきもの</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・町民満足度の高い事業であると考えられることから、今後も継続して実施すること 		

令和2年度 行政評価委員会 事業評価シート

1 事務事業名	担当課	担当班	担当者
健康増進事業	生活課	福祉健康班	永峯 美貴子
2 事業の概要・目的			
<p><健康ポイント事業> 生活習慣の変化による健康指標の悪化が見られており、健康寿命の延伸と健康格差縮小に向けた取り組みとして、効果的な健康づくりの推進が必要です。町民が気軽に楽しく、自主的に健康づくりを継続できるよう、県が実施する「ふくしま健民パスポート事業」と連携し、町関係機関が一体となり、みんながつながる、誰もが健康で暮らせる地域をつくれます。</p>			
3 前年度(令和元年度)実施内容の振り返り			
<p><対象者> 会津坂下町民で18歳以上の方(高校生を除く) <実施期間> 令和元年6月1日～令和2年3月1日 <内容> 町で設定した健康づくり事業に参加するとポイントが貯まる。3000ポイント貯まると「ふくしま健民カード」を発行し、継続することでカードがランクアップする。協力店でカードを提示すると割引や特典があり、さらに、県のキャンペーン応募の特典も得られる。 <改善点> 記録用紙を町独自の様式に変更し、記入しやすくした。広報掲載、各コミセンにポスターの掲示や台紙を設置し、広く周知した。町内の協力店が10店舗だったが、電話や訪問を行い、4店舗の新たな協力店を増やすことができた。 <効果> 前年度に比べ3人の増で、令和元年度は41人。参加者は、横ばいの状況であった。 <課題> 参加者が増加しない。健康づくりをしている住民を増やしたい。 <原因> ①住民への周知が不十分で、仕組みが分かりにくい ②他部署との連携や協力等ができてない ③協力店や特典が少なく魅力的でない。</p>			
4 今年度(令和2年度)取り組み内容 ※上半期の実績および下半期の取り組み予定			
<p><対象者> 令和元年度と同じ <実施期間> 令和2年6月1日～令和3年3月1日 <内容> 取り組み方法は、令和元年度と同じ <改善点> 1. 次の機関と連携し、横断的な取り組みを推進した(教育課:生涯学習係・スポーツクラブバンビィ、政策財務課:地域づくり係・各コミセン、産業課:観光物産係・観光物産協会)。連携の内容としては、住民への周知機会の拡大や(運動教室や老人クラブなどの地区での集まりでの説明や啓発の促進)、申請場所の拡大、町独自のインセンティブ(記念品)の提供である。 2. 町で設定している健康づくり事業の設定の拡大をし、より取り組みやすい設定とした。 <実績> ①参加人数55人(8月20日現在)前年度同時期5人であり、比較して11倍の増加となった。 ②新規取組者が多く、各地区の老人クラブ等での取り組みの一つとして健康づくりが行われている。 <下半期の取り組み> 引き続き健康教室等で広めていく。また、協力店の拡大と、県民カードを利用しやすい環境づくりとして、協力店へのポップなどの掲示を行っていく。</p>			
5 今後の事業の方向性			
<p>健康ポイント事業は、自分のタイミングで、年齢や生活スタイルに合わせた無理のない取り組みができます。また、毎日の健康づくりを記録することで、モチベーションを維持し、生活習慣の振り返りにもなります。本人自身が意識的に健康づくりを始め、継続するためのツールとして簡単に活用ができます。特に今年度は、日々の取組みに応じた町独自の特典がついたことで、参加者が増え、今まで健康づくりを意識していなかった無関心層へのアプローチにもなっています。 記録用紙での参加は、主に中高年の方の参加が多いですが、この事業は、スマートフォンなどでの県のふくしま健民アプリでも参加ができる仕組みとなっています。ふくしま健民アプリは、働き盛り世代が参加しやすいので、対象年代に合わせ健康づくりのツールの選択ができるよう、健康ポイント事業と合わせて取り組みをしたいと考えます。今後関係機関が一体となり、みんながつながる、誰もが健康で暮らせる地域づくりを目指します。</p>			
6 行政評価委員会の評価結果			
<ul style="list-style-type: none"> ●健康的な生活を送るため、健康づくりは必要であることから、今後も継続して事業を行うこと。 ●各地区コミュニティセンターとの連携により、健康ポイント事業への参加者が増えていることから、今後も関係機関と連携し、取組の充実・強化を図ること。 ●事業の仕組みが分かりづらいことが関心の低さを招いていると考えられるため、健康づくりに取り組むことの大切さや事業へ参加することのメリットを認識してもらえるよう、分かりやすい周知について検討すること。 ●事業の周知方法を工夫し、協力店舗のPRに繋げること。 			
評価基準②	改善点はあるが、継続して事業を実施すべきもの		

令和2年度 行政評価委員会 事業評価シート

1 事務事業名	担当課	担当班	担当者
農産物販路拡大事業	産業課	農林振興班	渡部 聡
2 事業の概要・目的			
首都圏を中心とした消費者及び外食産業等に対して、本町産農産物の販売促進活動を通じた販路拡大を図り農業者の所得向上に繋げる			
3 前年度(令和元年度)実施内容の振り返り			
<p>○認定農業者青年部委託事業(1,134千円) ・イムス東京葛飾総合病院や福祉施設で農産物の販売</p> <p>○サクラマリアージュ委託事業(425千円) ・外食産業、飲食業者と坂下町産農産物のマッチング業務を委託し、複数社と商談活動</p> <p>○町直営事業(1,441千円) ・新葛飾ロイヤルクリニックマルシェ、日本橋ふくしま館、JAトップセールス、川崎ブレーメン商店街イベント等首都圏での農産物販売 ・インショップ事業として高林果実店(川崎ブレーメン商店街)と敷地の賃貸借契約を結び、毎週金曜日に野菜の発送を実施し販売継続</p> <p>【事業効果】 3農業者、1法人、1団体が飲食店等への納品を継続中</p>			
4 今年度(令和2年度)取り組み内容 ※上半期の実績および下半期の取り組み予定			
<p>○目的・ターゲット・マッチング品目等を明確化した販売促進活動 ・販売促進活動の継続(イムス・日本橋ふくしま館・新葛飾・川崎) ・産地と外食事業社・飲食業社・給食等事業社への農産物等提案・マッチング活動の実施 → 商工観光班・観光物産協会事業との連携強化 → マッチング業務は、サクラマリアージュへの業務委託とし、商談は町と農業者が協力して行う ・高林果実店とのPR店舗契約(商工観光班事業との連携)</p>			
5 今後の事業の方向性			
<p>○物産等販売促進事業(商工観光班)との事業統合を検討 ・農産物、物産品の種別に捉われない、事業統合による効率的かつ効果的なPR・販促事業への移行</p>			
6 行政評価委員会の評価結果			
<p>●ふるさと納税やふるさと宅配号、インターネット販売等により、一定の成果があがっているが、今後ともコロナ禍に対応した事業推進を図ること。</p> <p>●生産者が「作る」ことだけでなく「売る」ことを考え、実践するための意識改革が必要であり、その方法について検討すること。</p> <p>●生産者と販売店が直接繋がることのできる、農産物の販売方法・体制について検討すること。</p> <p>●次年度以降、物産等販売促進事業(商工観光班)と事業統合することによる相乗効果を期待する。</p>			
評価基準②	改善点はあるが、継続して事業を実施すべきもの		

令和2年度 行政評価委員会 事業評価シート

1 事務事業名	担当課	担当班	担当者
行政施策PR推進事業	政策財務課	政策企画班	土肥 奈々子
2 事業の概要・目的			
町行政施策や情報を、広報紙、ホームページ、SNSを駆使し町内外に向けて広く情報発信し、町政発展につなげる。			
3 前年度(令和元年度)実施内容の振り返り			
<p>【広報あいづばんげ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全町民に向けて毎月25日・年間12回発行 ・町民の方の町広報に対するニーズを把握するため、広報紙に関するアンケートを実施 <p>【ホームページ・フェイスブック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要事項、まちの話題、イベント情報、子育て情報、首都圏で行う町のイベント情報などを即時発信 <p>◎ネットワーク上の年間閲覧者数 フェイスブック…年間掲載記事数:196件 年間閲覧者数:140,064人</p>			
4 今年度(令和2年度)取り組み内容 ※上半期の実績および下半期の取り組み予定			
<ul style="list-style-type: none"> ・あいづばんげ情報かわら版(毎月10日・年間12回発行)を発行 ・新型コロナウイルス感染症対策本部からのお知らせ(毎月10日、25日)を発行 ・ホームページ情報の即時更新の徹底 ・フェイスブック投稿の促進と戦略的な拡散の仕組みをつくる ・令和元年度広報紙アンケートを基にした広報紙面内容の見直し ・インスタグラム、ツイッターを導入し、インターネット上での情報拡散 			
5 今後の事業の方向性			
<p>それぞれの世代に有効な文章表記で戦略的に情報発信を行っていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報あいづばんげ、情報かわら版:紙媒体は中高年層が読みやすい内容、レイアウトとする ・SNS:インスタグラム(10~40代)、ツイッター(10~20代)、フェイスブック(20~60代)などそれぞれのSNSの利用年代に合わせた表記方法で情報発信を行う 			
6 行政評価委員会の評価結果			
<ul style="list-style-type: none"> ●情報を必要としている方へ届けるため必要な事業であり、今後も継続実施すべきである。 ●広報紙等への子や孫の写真掲載を希望する町民が多いことから、より多くの写真掲載の手法について検討いただきたい。 ●広報紙の読者アンケートについては、子育て世代だけではなく様々な世代の意見を聞くことで、より満足度の高い広報紙作成につなげていただきたい。 ●インスタグラム、ツイッターの導入については、利用世代を考慮した情報発信を実施いただきたい。 			
評価基準① 適正な効果があらわれているため、継続して事業を実施すべきもの			